



元気っ子通信

平成29年12月21日発行

今年の冬は厳しい寒さになる予報です。他人ごとのように考えている地球の温暖化も、じわじわと私たちの生活をおびやかす現象が出てき始めています。

酷暑、厳寒、集中豪雨、大規模台風による被害はまさにその影響です。一人ひとりが温暖化をくいとめることを意識して生活していかないと子どもたちに大変な苦勞を負わせることになります。

9月頃から、学童に着くと30分間無駄話をせずに集中して宿題をすることを約束しました。初めのころは「静かにしようね」と何度も何度も声かけしていましたが、最近では静かにすることも身につけてきましたし、30分以内でどの子ども宿題を終えることが出来るようになりました。やはり時間内に終わられたという達成感はその後の遊びの中の顔つきにも出てきます。

何事にも「集中する」ことを身につけてほしいと思っています。

以前、レンタルビデオでアカデミー賞受賞の映画「ビューティフル ライフ」を少しだけ内容を話してから3回に分けて観ました。初めは落ち着かない様子の子どもも、2回目は「昨日ここまで見たな」などとしっかり覚えていて、3回目はもっと前から始めてと言い2回目を見ていなかった子に内容を説明している子までいて、難しいと大人が決めつけずに見せてよかったと思いました。

収容所に入れられたユダヤ人家族の話で、おじいさんはガス室で、お父さんは銃で殺され戦争が終わって生き延びた坊やとお母さんが再会して「マンマ マンマ」と抱き合う姿に、

「良かったな、お母さんは生きとらなあかん、子どもを育てなあかんで」

「戦争が終わってあの人たち（ユダヤ人）はどこに行くの」

「みんながばらばらになるのはいや」

「戦争はこわいな」と子どもなりに感じていました。

どの子の感想もみな貴重な言葉です。

アカデミー賞をとる映画は人をひきつけるものをもっているんだと改めて思いました。

朝日新聞の「天声人語」から。

スピードスケート1000mで世界記録を出した小平奈緒選手の言葉

「用意された環境を歩くのは好きじゃない、自分で選び失敗も成功も受け入れる」と。

そして、自分の原動力となっているインド独立の父マハトマ・ガンジーの言葉を引用した。

「明日死ぬかのように生きよ、永遠に生きるかのように学べ」

～ 冬休みの連絡 ～

- 1、 1時間は静かにする時間を持ちたいと思います。何を勉強するか子どもと決めてください。
余った時間は読書もいいと思いますので普段読まない長いお話などはどうでしょう。
- 2、 感染症が心配な季節なので各自ハンカチをポケットに入れて、手洗いの度にふいて清潔を保ってほしいと思います。